

## 意識

# 家族の悲しむ顔が見たいですか

今年8月、幼児3人を死亡させた福岡市の飲酒運転事故はあまりにも悲しい事故でした。それでも、なくならない飲酒運転。そして重大な事故を起こし一生を棒に振る加害者。その陰で一瞬にして大切な人を奪われ悲しみを背負う遺族。飲酒運転は確信犯。犯罪なのです。

### 運転自体が危険行為

止まらない飲酒運転。相次ぐ悲惨な事故。運転者の意識について久慈警察署の南部一成交通課長は「車の運転は人の生命を奪い、身体を傷つける恐れのある危険な行為ということを、もう一度、皆さんが認識しなければなりません。さらに、その危険な行為を酒を飲んでするということは言語道断です。飲酒運転は絶対にしてはならないことだと一

人ひとりが強く思わなければなりません」と訴えます。

### 「犯罪」という意識を

「これくらいなら捕まらないと思つた」「違反や事故をしない限り大丈夫と思つた」「次の日、車が必要だつたから」……。警察の検問などでいう言葉です。

飲酒運転が他人の人生までも奪つてしまう犯罪行為であることを考えると、何と無責任で、罪の意識がない言い訳であるか分かります。「飲酒運転は運の悪い人が捕まる」というような考えであるならば、残念ながら酒運転はなくならないでしょう。自分の将来、家族の幸せ

を思つたら、決してできる行為ではないこと、飲酒運転は自分だけでなく、大切な家族、他人までも巻き込む犯罪行為であることを自覚する必要があります。



下谷地良一住民課長

下谷地良一住民課長は「大崎さんの講演を聴いて、共感した方がいたことは一つの成果だと思えます。今、村では飲食店などに飲酒運転防止の協力を呼び掛けたり、全戸には署名をお願いしています。これからは飲酒運転ゼロを目指して訴え続けます」と話します。

### 「飲酒運転撲滅はわが家から」

村交通安全母の会会長  
金子 茂子さん



大崎さん夫妻の語り尽くせない悲しみと怒りに、涙して聴きました。「もしもわが子だったら」「わが夫が加害者だったら」と考えたとき、体が硬くなるほど怖くなりました。

わが家では飲む前に確認します。泊まる？ タクシー？ 代行？ 迎え？ 安心は何よりの幸せです。飲酒運転撲滅はわが家から。「あなたが大切だから絶対にダメ」と強く訴えます。

### 「飲酒運転は犯罪行為です」

久慈警察署  
普代駐在所長  
菊池 孝則さん



運転する一人ひとりが飲酒運転は交通違反ではなく「犯罪である」という意識を持ってほしいと思います。

なぜなら飲酒運転は重大な事故につながるケースが非常に多いからです。飲酒運転による事故は家族も巻き込んでしまいます。それは悲惨です。もう一度運転手が、家族が、そして職場などで「飲酒運転は犯罪行為なんだ」という意識を持たなければなりません。